



We serve

IWATA LIONS CLUB REPORT

[2020.7～2021.6]



CN63記念事業（なぎの木会館）

国際テーマ

WE SERVE(われわれは奉仕する)

3 3 4 複合地区スローガン

「セカンドセンチュリー組織と奉仕に魂を！」

3 3 4 - C 地区スローガン

「“We Serve” の精神で地域に誇れる感動の奉仕を！」

磐田ライオンズクラブ

スローガン 「伝統と奉仕、そして革新」

努力目標 「真心の活動で広げよう奉仕の輪」

2021 6

会長挨拶

新型コロナ感染拡大が止まらない状況での新年度スタートでした。何とか無事終わることが出来そうです。これも役員・理事をはじめとし、会員皆さんの御尽力、ご協力の賜物と感謝申し上げます。予定したアクティビティも半分位中止となり、理事会、例会も会場を変えたり、食事抜きにしたりと皆様方には大変ご迷惑をおかけしました。すべてが中止ではなく何とか理事会、例会が開催できないか手探り状態での結果となりました。そんな中に於いても開催できたアクティビティはそれぞれ成果が上がったのではないかと思います。平和ポスター展、ヘアードネーション、献血活動、LCIF献金、ライオンズパーク草刈り等各委員長・会員の皆さんに感謝を申し上げます。

また、CN63記念事業のバリアフリー映画上映会も万全のコロナ対策に於いて開催出来た事、非常にうれしく思います。理事会のweb化、役員会議のweb化、ラインでの情報共有と今までとは違った形での打ち合わせが出来た事、今後も必要不可欠となると思います。例会・理事会は対面形式が基本ですが、出席できない人にはweb参加もありではないかと思います。

これで会長の任は終わりますが、何かにつけての苦言提言、皆様方の叱咤激励と思いこれからも奉仕の気持ちを忘れずに協力していきたいと思ひます。この一年間「最高の人生の時間」を経験させていただきました。役員・理事・会員・事務局みんな一年間ほんとにありがとうございました。



会 長
L. 小林 秀樹



幹 事
L. 加藤 克巳

今年度は、準備理事会当初からコロナ感染状況を視野に入れながら、例会・アクティビティ等の開催を会長と共に判断せざるを得ない1年間でした。それでも、CN63事業のバリアフリー映画をはじめ、各委員会の事業計画のもとメンバー全員の協力によって、社会貢献に出来る限りの奉仕活動を達成出来たと思っています。

幹事の役割として、会長と役員・理事をはじめ、各メンバーとのパイプ役を務めることでした。その中でもCN63事業プロジェクトチームには、若手のメンバーを登用し、活発な意見を出し合い事業を進めて行く中で、三役との距離感が近くなりました。また、事業内容を各メンバーに伝達していく中で、交流が生まれたと思います。コロナ禍の中、大変な1年間でしたが、責務を全う出来たことは、支えて頂いた各メンバーのお陰です。本当に有難うございました。



会 計
L. 田中 孝教

昨年より続くコロナ禍での各種のアクティビティも中止に迫られてしまい、それぞれが大変な一年間の任期であったことと思います。その中であって、小林会長のスローガン「伝統と奉仕、そして革新」のもと、CN63周年記念事業「バリアフリー映画上映会」は、感染症対策もスタッフ一同綿密な準備を心掛けて開催を決断し、視覚、聴覚に障がいを持つ方々と共に鑑賞できたことが印象に残りました。各委員会による計画も不完全燃焼の感があるかと思いますが、有効に使いきれなかった予算とエネルギーを次年度の為に「We serve」!。そしてこの一年間オンライン会議の仕方も学ばせて頂き、各委員の皆様方と共に努めることができましたことを感謝申し上げます。



第一副会長
L. 鈴木 康志

コロナ感染拡大による自粛宣言の中、「伝統と奉仕、そして革新」のスローガンのもと感染症対策を徹底し、1年間のクラブ運営大変勉強になりました。

小林会長をはじめ、幹事、会計、役員、理事の皆様、ご苦勞様でございました。



第二副会長
L. 江間 清

コロナ禍の中でライオンズの活動自体が、大きく制約を受けた1年でした。予定されたアクティビティがことごとく見直しを余儀なくされました。これからのライオンズ活動も大小にわたり、見直しされていくでしょう。残すべき、見直すべき領域を、聖域なく、担えるリーダーを育てていきましょう。社会に、地域にライオンズ活動を問いかける、いい機会なのかもしれません。1年間のご協力ありがとうございました。



ライオン・テーマ
L. 古田 康隆

今年度は、三密対策のため、急な例会場の変更やWeb理事会の開催など、ライオン・テーマとしても大変悩ましい一年でしたが、会員の皆様や事務局伊藤さん、各会場場所のスタッフさんの多大なるご協力を頂き、無事に職務を全うすることができました。至らない点も多々あったかと存じますが、この場を借りて御礼申し上げます。一年間、誠にありがとうございました。



テール・ツイスター
L. 松田 智照

今年度、テールツイスターという役を拝命し活動して参りました。最初の3ヶ月ほどは、例会にてライオンメンバーの名前を間違えてお呼びしないようにとその事ばかり心配しておりましたが、年が明けて1月頃には、お名前とお顔も一致するようになり、落ち着いて内容を読むことが出来るようになりました。入会間もない自分が務めることが出来たのは、メンバーの皆さまが、暖かく見守り支えて下さったおかげです。ありがとうございました。また、名前を間違えてはいけないというプレッシャーも、お名前を覚えていくという上では最適な方法であったなと感心させて頂きました。



会員委員長
L. 鈴木 和男

1R(リジョン)新会員セミナーが4月6日、浜松にて1Z(ゾーン)から4Zの11クラブ、38名の新会員(内 女性会員:10名)が参加して開催され、元地区ガバナーのL松本巖、L岡野良隆が「ライオンズ100年の歴史」、「ライオンズ用語」「クラブ運営と役職」についてセミナーが行われました。テキストは334複合地区ガバナー協議会発行の「会員セミナーのしおり」が使用され、分かり易く詳細に記載されているので今後「クラブ新会員セミナー」にも使用すると良いと思います。女性会員が多く参加されており、各クラブ共に女性の勧誘に力を入れている事がよく理解できます。当クラブも女性会員の拡大に注力すべきだと感じました。



接待諮問委員長
L. 飛田 紗有李

『2度あることは3度ある』予測的中。三回の担当例会が中止となった当委員会、新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。ゲストをお迎えしても心を込めた挨拶に留め、おもてなしが出来ない事も致し方無いと安全を優先しました。当たり前の日常が当たり前では無くなり、世界中が大きな日常の変化を強いられた今、何が起ころうと慌てずしっかりと受け止めてライオニズムの本質に立ち返り、こんなご時世だからこそ社会に必要とされるクラブでありたいと学んだ意味のある一年でした。コロナ禍の中、役員理事そしてCN63プロジェクトチームの皆様お疲れ様でした。会員の皆様ありがとうございました。



会則出席委員長
L. 齋藤 道夫

コロナに始まりコロナで終わった1年間でした。
厳しい経済情勢の中、会員の負担を少しでも減らそうと色々と思案しましたが会費の個々の内訳は少額で理事会に提案するまでに至りませんでした。
コロナ感染予防の観点から例会場やアクティビティの変更等いろいろとイレギュラーな状況が続いたにも関わらず会員の減少もなく、今期は例会の100%出席者が13名、アクティビティの100%出席者が7名、両方100%の出席者が5名と例年になく沢山の会員にご協力いただいたことに感謝申し上げます。



財務LCIF委員長
L. 村松 由季子

新型コロナウイルス感染症は変異を続けながら感染を広めるばかりで、イベントで何らかの資金獲得事業をするために確保した予算を当初の予定通り使う機会はありませんでした。途中から切り替えて、メンバーに「キャンペーン100」へのご協力をいただけるように、この予算で貯金箱を自作することにしました。多くの皆様に100ドル献金へのご協力を賜り、誠にありがとうございました。また、MJF献金に関しましても、厳しい状況の中にも拘わらず8名というノルマを達成することができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



大会計画委員長
L. 栗田 耕志

今年度、私たち大会計画委員会のメンバーは多くの皆さまに感動と喜びを与えられるよう努める思いで活動に取り組んでまいりましたが、計画した全ての活動内容(8月おやじバンドを聴きながらBBQ&昆虫講話家族会、12月クリスマス研修会、6月磐南書道部による書道パフォーマンスさよなら例会)を惜きコロナに奪われ、抵抗むなく悲しい1年となってしまいました。あっという間の1年でしたが、委員の皆様、1年間御協力頂きありがとうございました。



献眼献腎献血委員長
L. 齋藤 滋子

コロナ禍の中、計画通りとはいきませんでしたが、委員会の団結力とメンバーの皆様方のご協力で、献血活動、献眼や糖尿病についての勉強会、ヘアドネーション等、楽しく活動できました。ありがとうございました。なお、現在再び、ヘアドネーションの受け入れが停止していますが、今年度の発送済みは31件(つな髪20件、JHD11件)、現在預かり分が別途2件となっています。早期再開を願いつつご報告申し上げます。



環境福祉委員長
L. 村松 正規

今期は、コロナウイルスの蔓延にて活動を一部縮小しなければならない1年でした。活動としては、比較的安全であろう草刈を中心に8月・11月・3月・6月と計4回行いました。この様な状態の中、明るい話題もあり、第67回年次大会において「環境保全推進賞」を4月に頂きました。これは、33年間桜と花壇の手入れを続けている事に対する表彰です。結びに、クラブ会員皆様のご協力があってライオンズパークは、維持されています。これからもご協力お願いします。また、1年間ありがとうございました。

アクティビティ・例会より

国際平和ポスターコンテスト 10月1日(木)

本年度青少年委員会は、コロナ禍によりYCE生は派遣も受入も中止、レオクラブ検討プロジェクトは学内事情やコロナ禍の影響で進展なく、非常に活動しにくい一年でした。そこで国際平和ポスターコンテストに重点を置く計画をしたのですが、春先から学校が休校、夏休みも短縮となつてしまい、参加者数を危惧いたしました。しかしふたを開けてみると例年並みの参加者があり、作品のレベルも向上して、アピタ磐田店にて多く観客を前にして展示・表彰を行うことができました。更に、キャビネットに送った本間佐佐木さんの作品は、磐田LCスポンシングで実に十数年ぶりに334C地区と更に334複合地区で最優秀作品として選ばれました。1月に小林会長が磐田第一中学校へ出向き、校長室にて本間さんを称え、記念のトロフィーを手渡しました。これらの経緯は、クラブ内での表彰も含め新聞2社が二度にわたり取材、新聞掲載していただきました。特に中日新聞社の記事は、県内版に掲載され334C地区全体のメンバーや県民の目に留まり、多くの反響をいただきました。これにより本年度は磐田LCの名を広くメディア露出することに貢献できたと思います。



青少年・YCEクエスト委員長
L. 村松正浩



2021年2月9日(火)
静岡新聞朝刊掲載

CN63周年記念事業 バリアフリー映画上映会 4月11日(日)

新型コロナウイルスの感染予防対策をできる限り行いながらも、大勢の参加者を集め、開催することが出来た。視覚・聴覚障がい者を楽しんでもらうための「バリアフリー映画上映会」であった。障がいのある方、またはその関係団体に参加募集を協力してもらった際には概ね好評であり、コロナ禍の状況において、募集も遠慮気味だった割には、募集定員200名に対して、ほぼ同数の方々にご来場頂けた。会場では、ソーシャルディスタンスの徹底や検温・消毒等を徹底し、来場された方にも安心してもらえた様でした。また、一般参加者やメンバーの中で「バリアフリー映画」を知らなかった方には、要支援者と共に楽しみ共有できるツールが世にある事を知ってもらい良い機会となった。そして開催に向けての準備の中で、要支援者への接し方、会場での誘導方法等、一般の健常者へ向けて募集・開催する場合と大きな違いがある事。そして中には必要以上に特別な対応は必要ない部分など、企画・開催してみても学び・実感したことは、今後ライオンズクラブが社会奉仕活動をおこなっていく上で大きな財産になったと思う。また要支援者に関係する諸団体と開催協力できたことも、ライオンズクラブの財産となりました。

テール・ツイスター L. 松田智照



年次大会授賞式 4月18日(日)

静岡県内のライオンズ活動、一年間の総決算! 年次大会に多くのメンバーで参加してきました。会場は富士市と言う事でバスを貸し切り、旅行気分で行ってまいりました。途中のインターでは、富士山を眺めながら美味しい料理を食べ。年次大会の会場では、ライオンズグッズのお買い物。式典が始まる前には、チアダンスを楽しみました。会長や次年度会長の挨拶では皆で感銘を受けましたが、やはり一番嬉しかったのが、磐田ライオンズクラブが賞を3つも受賞した事です! 一度に3つも受賞する事は中々無いらしく、今年度の磐田ライオンズクラブの活動が、例年にも増して、本当に素晴らしかった事を改めて思い返しました。嬉しい気持ちで帰った所、駐車場である福王寺のL田中孝教よりタケノコ煮のプレゼントというサプライズもあり、ホクホクのタケノコを皆持ち帰り、喜びました。年次大会が楽しかったのも、私達が一年間頑張ってきた証拠です。また来年も楽しい年次大会になりますように、次年度もライオンズ活動を頑張りたい、楽しみましょう!

MC委員長 L. 伊藤慎弥



環境保全推進賞
受賞者: L 村松正規



MC賞
受賞者: L 伊藤慎弥



会報・ホームページコンテスト
受賞者: L 加藤克巳

編集後記

今年ほど、磐田ライオンズクラブの活動が新聞に取り上げられた年は無いでしょう。バリアフリー映画・国際平和ポスター・国際交流協会へのフェイスシールド寄贈等です。それはひとえに、私達の活動が素晴らしく、市民の皆様にも認められている証です。そして、その活動の原動力は、私達の奉仕の心。世の為・人の為に尽くしたい、明るい社会を創りたいと言う私達の心が、素晴らしい事業を行う原動力となっている、私は事業を間近で見ていて確信をしました。ライオンズクラブの活動は素晴らしいです。磐田を、世界を変えていきます。私は次年度は、MC委員会を離れますが、個人的な活動として、磐田ライオンズクラブの活動を積極的に内外に発信し、奉仕の心を広げて行く事を、皆様にお約束いたします。



MC委員長
L. 伊藤慎弥